

研究テーマ：豊中市障害児教育基本方針（改定版）の実現に向けた支援教育の在り方



活動内容 1月

〈外部公開学習会〉

久保田裕斗先生（びわこ学院大学）

テーマ：学校現場における「自立活動」の実践と課題
ーインクルーシブ教育の今後を考えるー

1. はじめに
2. 合理的配慮とは
3. 障害の社会モデル
4. 2022年国連勧告
5. はじめに参加ありき
6. 支援教育の「自立」観
7. 生活から学習へ

活動内容 2月

〈自立活動を見つけよう〉

① 前回の公開学習会で自立活動について学んだことを生かし、各学校で現在行っている指導内容を見返し、6区分27項目のどこに位置づくか、また関連しているかを、個別の教育支援計画・指導計画をもとに考えた。

検討していくと、一つの支援・指導に対して、複数の項目が重なり、関連していることが分かった。

② 日々の支援・指導についての交流

小グループに分かれ、日々の支援・指導について各校の具体的な取り組みを交流した。合理的配慮と自立活動について、「合理的配慮の提供を本人が他者へ依頼できるようになること」も自立活動になるとの助言を得た。

- ③ 実施報告書・来年度の取り組みについて
実施報告書を作成するにあたって、来年度への課題を検討した。個別の指導計画の書き方について検討する、講師を招き、支援教育についての知見を深める、支援学級在籍児童の評価基準と評価方法について検討する、などの意見が出た。

今後の活動

3月 研究報告会